



かなざきひさを応援する会・会報 47号 事務局 上山口 1878-9 Tel&Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425

E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/>

新町長に山梨崇仁氏 平成 24 年 1 月 20 日 就任

「葉山のおかしいを変えたい」とのキャッチフレーズで見事な選挙戦を繰りひろげ、多くの町民の支持を得て、当選なさいました。町長選挙において「議会が、議員がおかしい」との批判をしておりましたが、かなざきひさは山梨氏とは5年間葉山町議員として同席し、議員としての動向を見てまいりました。山梨氏の揺れ動く様を幾度となく体験し、町長としての今後が危ぶまれます。しっかりと議会としての権能を果たしてまいります。

ごみ裁判 附帯控訴議案 可決

山梨新町長もと、初めての第1回定例会が開催されました。期日平成24年2月14日～3月14日

葉山町が抱えている大きな課題の一つにごみ問題があります。特に横須賀、三浦両市から控訴されているごみ裁判をいかに穏便に済ませていただけるかの折衝が新町長に課せられた、初めの重要な仕事であると期待をしておりました。

しかし、新町長は両市長との面談を一度も行わず、一審判決が不服として控訴されている裁判に対し、葉山町も不服であると、附帯控訴の手続きを取りたいとの議案を提出いたしました。森前町長の対応を彷彿とさせられる事態です。

新町長マニフェストに「他自治体とのパートナーシップを築きます。町の外交の重要性を認識しています」とあります。そして「常に近隣と話し合う町長として、葉山町の外交に全力を尽くします」とも書かれており、これは選挙向けの言葉だけだったのでしょうか。このことを示し、議案の取り下げをし、まず両市に出向いて控訴取り下げのお願いをするべきと訴えましたが、聞き入れていただけず、議案審査となりました。

かなざきひさは以下の理由で反対をしました。

- ・町長が交代した時期が折衝のチャンスであるのに、その努力を全くせず議案を提出したことは森前町長の継承であり、両市に対し、戦う姿勢を示すことは得策ではない。

- ・両市に対し395万円の支払いをするようにとの第1審判決の取り消しを求めているが、これは裁判官が示した和解金額である。それを限りなくゼロに近づけるために戦う必要は全くない。両市から金額が不服として控訴されているが、それに対し応訴するのみで十分である。(応訴のみでは395万円から下がることはない)新町長がまずすべきことは両市に対し、控訴取り下げのお願いに伺うべきである。

- ・この議会では否決し、第1回口頭弁論日(平成24年4月16日)までに両市との取り下げ折衝に努力した結果不調に終わったら、臨時会を開き再度提案すべきである。

反対議員	かなざきひさ・横山・中村・笠原
賛成議員	鈴木・近藤・窪田・守屋・田中・荒井・土佐・長塚・待寺

○平成19年度予算特別委員会が設置され、かなざきひさが委員長に任命されました。慎重審査の結果、平成19年度予算が成立いたしました。

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
一 会 計	90億1100万円	94億2300万円	△4億1200万円
国民健康保険特別会計	約31億8743万円	約28億3848万円	約3億4895万円
老人保健医療特別会計	約25億5644万円	約25億5339万円	約305万円
介護保険特別会計	約19億8064万円	約19億1374万円	約6690万円
下水道事業特別会計	約14億8423万円	約17億4152万円	△約2億5729万円
合 計	約182億1974万円	184億7013万円	△約2億5039万円

○主な事業

- ・ 私立幼稚園児の保護者に対する助成金(町単独分)が8,000円から9,000円になりました。 (580万5,000円)
- ・ 副読本等発刊事業 (63万円)
 - 18年度皆様から寄せられた戦争体験がいよいよ小学校副読本となり役に立ちます。
- ・ 地域の方々の待望であった向原バス停に日除けが設置されます。 (30万円)
- ・ 葉山小学校体育館の補強工事とともにトイレの改修も行われます。 (9,507万5,000円)
- ・ 津波ハザードマップを作成し、全戸配布します。 (404万7,000円)

○ かなざきひさの一般質問

議員 2 期目の 4 年間に開催されました 16 回の定例会の全てにおいて一般質問をいたしました。 「検討する」という答弁をいただいた事項について、4 年間のけじめとして検討結果をお聞きする必要があり、今回の質問に取り上げました。

質問と提案	理事者側の答弁
排出者責任として、各スーパーマーケットハトレーのみならずペットボトルの回収を依頼して欲しい。	自主的に現在 2 店舗に回収箱が設置されている。今後は資源化・減量化の協力のため、ペットボトルとレジ袋も含めてお願いをしていく。(町長)
し尿収集手数料と業者委託料との差額が 589 万 9,000 円である。受益者負担の考えから、手数料の値上げの検討結果は。	近隣地域の状況を調査したが、手数料は平均値であり、適正な料金と考える。(町長)
し尿の焼却処理を含めた重油代は 1 億 6,312 万円である。地球温暖化の観点からも大至急変更が必要である。今後の予定は。	その認識は持っている。庁内で緊急課題として検討している。(町長)
町収集の廃油についても給食廃油と同様、リサイクル業者への無料引き取りを検討すべきだ。	3 月より業者に無料で引き取っていただいている。(町長)
桜の天狗巣病対策について、予算化すると約束だが。	調査の結果 400 本の桜に天狗巣病のあることが判明、2 月に町職員により、花の木公園と葉山小前の手入れをした。危険箇所については今後検討する。(町長)
一泊二日の非難訓練について。	19 年度実施の予定。(町長)
災害時の弱者対策について、関係機関との締結は。	締結はしなくても、日頃の人間関係の構築でいざという時には対応していただけたらと思う。(町長)
軽度発達障害の理解のための研修を全教職員に。	18 年度は 80 人の参加があった。19 年度は 12 回開催し、全教職員に呼びかける。(教育長)
学校におけるごみ分別指導は	取り組んでおる。(教育長)
学校のトイレ清掃を教職員・児童・生徒の手で。	教育的観点から必要のことと思う。23 年度までに全てのトイレを改修するのでそれに合わせて考えたい。(教育長)
かなざきひさの考え 心身障害者手当支給事業などが今年度大幅カットされ、福祉の切捨てと議論がなされました。精神障害をも含めた新たな施策への転換期として、産み の苦しみとなるよう強く要望いたしました。	

(2) (仮称) 保育園・教育総合センター複合施設について

10 月の開所に向け、消防庁舎裏に着々と建設が進んでおります。町長は発達につまづきのある未就学及び就学後の児童に対し、福祉と教育が連携して、一貫した療育を目指すという東日本で最も先進的な取り組みを行うと施政方針で述べておられます。この取り組みについて質問しました。

質問と提案	理事者側の答弁
現在の準備状況は。	一貫した療育に実効性を持たせるため、たんぼぼ教室において個別支援計画を作成し、保健・医療等を含めた協力体制の整備を行う。(町長)
福祉と教育の連携のためのコーディネーターの person 費 150 万円が計上されているが。	スタッフとしての人材を確保する。(福祉環境部長)
軽度発達障害を教育現場で見極めるためには、現場の教職員に対する研修も重要と思うが。	機会を捉えて、場所も確保できるので十分に対応して参りたい。(教育長)
国において幼稚園と保育園の一元化が検討されており、「認定こども園」として 10 月からの実施を目指しているがご存知か。	調査した経緯はない。(福祉環境部長)
「認定こども園」は親が働いていなくても利用できることと、経常費及び施設整備費などの助成がある。是非調査して欲しい。	新たな国の対応なので早急に調査をし、葉山に可能かどうかを調べる必要がある。(町長)
かなざきひさの考え 教育委員会と福祉課との壁を取り払うことにより、障害を持つ人々の一生をスムーズに見守ることができま。そして必要に応じ手助けをすることが真の福祉行政と思います。この複合施設の建設が理事者側の福祉に関する考え方の変化を引き起こすきっかけになったように思われました。	

(3) 歳入を増す方策について

18 年度予算を検証し、歳出削減の努力は随所に見られますが、歳入を増すアイデアがほとんど見受けられませんでした。今後の町財政にとって必要なことと考え質問しました。

質問と提案	理事者側の答弁
歳入を増す方策について。	今回は汚水処理施設使用料を改定させて頂いた。(町長)
今後の予定は。	公平性を考慮し、適宜検討する必要がある。(町長)

町民農園は休耕地の活性化にもつながるので有料にし、区画を拡大してはいかがか。	同感であるので考えてみる。 (町長)
葉山港において有料でも良いからバーベキュースペースが必要という要望が多いが検討してはいかがか。	許可権は県にあるので、今後協議していく。 (都市経済部長)
10月から有料事業所へのごみ戸別収集を廃止するが、その後のごみ処理の指導は。	クリーンセンターへの排出をお願いしていく。 (福祉環境部長)
18年度は有料事業所への収集手数料は304万円減となり、その分の直接搬入の処理費用を540万9千円見込んでいるが、近くのごみステーションに出されるという懸念は	可能性はあるが、持込の徹底をお願いしていく。 (福祉環境部長)
持込ができない状況の事業所もあると思うので、受益者負担のためにもごみ袋の有料化が必要ではないか。	他市もその方向に進んでいるが、新たな負担は慎重にしつつ、2市1町による広域対応も見据え必要性も含め方向性を研究する。 (町長)
アルミ缶と牛乳パックは資源として193万4千円の売り上げを見込んでいるが、分別して出した町民の前で燃えるごみとして巻き込んでしまった事例がある。職員に対して1円でも無駄にしないという徹底した意識の指導を。	大変遺憾である。クリーンセンター長を通して徹底させる。 (福祉環境部長)
<p>かなざきひさの考え 何もかも税でまかなえるのが理想ですが、国の方針などのあおりを受け合併をしていない葉山町にとって大変厳しい財政です。今後は有料で良いから町民が楽しめることを企画するなどの考えも取り入れる必要があると思います。また、ごみの有料化は努力している人が報われるような施策に是非して頂きたいと思っております。</p>	

お知らせ

長年課題にしておりました放置ボート対策について、会派の協力を得て平成16年12月1日に県へ新葉クラブ4人の連名で陳情を出しておりましたが、平成18年3月24日県の建設常任委員会です承され、今年中に完全撤去へ向け動いていただくこととなりました。このように結果を出せることに議員としての喜びを感じております。

今後とも、皆様方の身の回りで何かお気づきのことがございましたら、何なりとお申し付け下さい。取り組んで参りたいと思います。